



環境保全と再資源化への提言誌

月刊廃棄物

Monthly the Waste Vol.45 No.585

since 1975

■特集 3Rの意識を育む

- リポート 環境大臣と防衛大臣が台風19号の被災地・長野を視察
- 連載 激動30年に学ぶ 自治体のごみ処理政策
- 連載 現場発 ドイツのごみ事情

東京都羽村市で、アークアエナジー(株)(東京都港区)の企画・運営するプロジェクトで建設が進められている羽村バイオガス発電所が、2020年7月にも商業運転を開始する見込みとなった。すでに主要機器の据付に入っており、2020年3月には試運転を開始する。

(株)西東京リサイクルセンターがオペレーションを行う同発電所は、食品廃棄物など1日当たり80t処理、

都市型バイオガス発電施設が 来年7月、商業運転へ

年間約850万kWhの発電規模で計画され、首都圏で不足する食品リサイクルの受け皿として、食品関連事業者や周辺市町から注目を集めてきた。2018年3月に地鎮祭を行い、周辺企業や住民への説明会を重ねた後、所定の手続きを経て同年10月に着工した。

工業専用地域の1000坪の敷地に建設中の施設は、前処理棟、発酵槽、排水処理設備、発電設備で構成する。完成後は、合同会社羽村バイオガス発電所が運営主体となり、2020年7月からの商業運転では、関東圏で発生する産業廃棄物の食品

生ごみ
リサイクル
NEWSフラッシュ

**NEWS
FLASH**
Garbage Recycling

※週刊循環経済新聞
2019年9月9日～9月16日の記事から抜粋要約

廃棄物を中心に受け入れ、異物を除去した上でメタン発酵ガス化発電を行い、FITを活用して売電する。